

“世界旅行”の果て、
二人の青年は凶暴な愛を予感する



「一緒では苦しすぎるが、ひとりでは生きていけない」

フランソワ・トリュフォー監督『隣の女』のセリフから着想を得た——

『オーファズ・ブルース』の新鋭・工藤梨穂が紡ぐ、やさしくて痛い青春のきらめき

監督・脚本を務めるのは、大学の卒業制作『オーファズ・ブルース』でPFFアワード2018グランプリを受賞し、国内外からその瑞々しい感性と圧倒的な画力・構成力を絶賛された工藤梨穂。日本映画を代表する監督たちの商業デビュー作を送り出してきたPFFスカラシップ作品*の第27弾となる本作では、『ブエノスアイレス』、『汚れた血』、『ラブバトル』、『アデル、ブルーは熱い色』といった恋愛映画の名作から受けたインスピレーションを、独自のセンスで登場人物の造形や物語に昇華させている。

寡黙な青年二人の間であふれ出る愛情や欲望の行方を、肉体のぶつかり合いと、偽りの旅を通して描き出す——誰しもの記憶に残り続ける青春映画が誕生した。



illustration: Ayaka

第27回PFFスカラシップ作品

脚本・監督: 工藤梨穂

出演: 佐々木詩音、諏訪珠理、伊藤歌歩

甲本雅裕、風吹ジュン

主題歌: soma [Primula Julian] (dead funny records)

配給: 一般社団法人PFF/マジックアワー

2021年/日本/カラー/1.85:1/5.1ch/DCP/128分

www.hadashi-movie.com

STORY

父の不用品回収会社で働く直己と、盲目の養母・美鳥と暮らす横。

二人の青年は、「世界を見てきてほしい」という美鳥の願いを叶えるために、回収で手に入れたレコーダーを手に“世界の音”を求めて偽りの世界旅行を繰り返し広げていく。

サハラ砂漠を歩き、イグアスの滝に打たれ、カナダの草原で風に吹かれながら、同時に惹かれ合うも、互いを抱きしめることができない二人。そんなある日、想いを募らせた直己は唐突に横へ拳をぶつけてしまう。それをきっかけにして、二人は“互いへ触れる”ための格闘に自分たちだけの愛を見出していくが…。

*PFF(びあフィルムフェスティバル)スカラシップとは?

1984年創設の映画監督育成プロジェクト。これまでに溝口亮輔監督『二十才の微熱』、李相日監督『BORDER LINE』、石井裕也監督『川の底からこんにちは』など日本映画史に残る名作を世に送り出してきた。



名画座 2本立て 3/10 (金)~ 上映決定
併映作品 『オーファズ・ブルース』

キネカ大森

03-3762-6000

http://ttcg.jp/cineka_omori/



OFFICIAL
SELECTION

INTERNATIONAL
FILM FESTIVAL
ROTTERDAM
2022



どこへ行こう？
どこへでも行ける。



裸足で 鳴らしませろ

Let Me Hear It Barefoot

佐々木詩音 諏訪珠理 伊藤歌歩 甲本雅裕 風吹ジュン

高林由紀子 木村知貴 淡梨 円井わん 細川佳央

脚本・監督 工藤梨穂

第51回

ロッテルダム国際映画祭

ハーバー部門 選出

第22回 ニッポンコネクション

NIPPON VISIONS部門

スペシャル・メンション 獲得

第46回 フレームライン

(サンフランシスコ国際LGBTQ+映画祭)

ワールド・シネマ部門 選出

世界最大級の子ども映画祭

第52回 ジッフォーニ国際映画祭

コンペティション部門 選出

第27回 PFF スカラシップ作品 / 製作: 矢内 廣、堀 義貴、佐藤直樹 / プロデューサー: 天野真弓 / ラインプロデューサー: 仙田麻子 / 撮影: 佐々木靖之 / 音響: 黄 永昌 / 音楽: 藤井草馬 / 美術: 柳 芽似
アクションコーディネーター: 園村健介 / 編集: 山崎 梓 / 助監督: 平波 亘 / ヘアメイク: 大宅理絵 / 衣裳: 藤原千弥 / 制作担当: 三吉優也 / 主題歌: soma "Primula Julian" (dead funny records)

製作: PFFパートナーズ=びあ、ホリプロ、日活 / 一般社団法人 PFF 制作プロダクション: エリセカンパニー 配給: 一般社団法人 PFF / マジックアワー
2021年/日本/カラー/1.85:1/5.1ch/DCP/128分 www.hadashi-movie.com ©2021 PFFパートナーズ(びあ、ホリプロ、日活) / 一般社団法人 PFF

